

# クワシロカイガラムシの発生状況と 防除方法について（第1世代）

平成30年5月8日  
埼玉県茶業研究所

本年はクワシロカイガラムシ（以下「クワシロ」）の産卵や幼虫の発生は平年よりかなり早い見込みです。

次の方法により、茶園の防除や更新処理を適切に行ってください。

## 1 発生状況

5月7日現在、クワシロ雌成虫の産卵率は100%に達しており、歩行幼虫が発生しています。

## 2 積算温度による推定

青梅アメダスデータと各地で調査している温度データによる推定防除適期は以下のとおりです。

積算温度調査地点	積算温度と切り枝調査による推定防除適期
入間市（野田） 狭山市（笹井） 所沢市（下富） 所沢市（北野新町） 所沢市（東狭山ヶ丘）	5月10日～15日
入間（木蓮寺） 入間（根岸） 入間（上藤沢）	5月12日～17日
青梅アメダスデータ	5月10日～13日

## 3 防除適期

防除適期は幼虫が発生し始めてから7～10日後になります。5月7日現在の幼虫発生状況や積算温度による推定から、防除適期は**5月12日～17日頃**と推定されます。

ただし、普段から暖かい地域で日当たりのよい茶園では5月10日～5月15日頃と推定されます。

防除効果が期待できる時期はとても短いのでこれらの適期を逃さないようにしましょう。生息密度を上げないためにも、『摘採が終わっていない』、または『製茶中で防除ができない』などの場合も放置せず、適期から数日遅れても防除してください。判断が難しい場合はご相談ください。また近隣の茶園で摘採が終わっていない場合は園主に摘採日の確認などを行い、摘採後に防除するようお願いいたします。

なお、下記の日程で茶業研究所にて防除適期判定会を行いますので、クワシロが付いている枝を切って都合の良い時間にお持ちください。

#### 防除適期判定会

日	時間	場所
5月11日(金)	午前9時～午後3時	茶業研究所農業革新支援担当 (1階奥)
5月14日(月)		

#### 4 防除方法

プルートMCを散布していないほ場については、天敵に影響の少ないアプロードエースフロアブルまたはコルト顆粒水和剤を防除基準に従って散布してください。農薬の散布に当たっては株内の枝に十分農薬液がかかるように丁寧に実施してください。

プルートMCを散布したほ場については、この時期に他の薬剤で防除をする必要はありませんが、クワシロの発生については今後注意して観察を行ってください。

#### 5 更新処理

乗用型摘採機や可搬式せん枝機等を使って深刈りや台切り更新を予定している方は、作業機の風により、幼虫や卵が周辺の茶園に飛散することがないように、十分注意して作業してください。

なお、台切り更新をしても株元に成虫や幼虫が残っている場合は防除を行いましょう。

農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう

連絡先：埼玉県茶業研究所 農業革新支援担当 田中

TEL：04-2936-1351

※この通知は茶業研究所農業革新支援担当とJAいるま野が協力して作成し、お知らせしています。